

はじめまして、私はつい先日倒産した株式会社フィルの利用者であった者です。昨日は破産した経緯の説明会ならびに事情説明の為に、記者様達に御足労頂き不甲斐ない社長に代わり、厚く御礼を申し上げます。さて、この度、こうして文面を打たせて頂いたのは、これより述べる「事実」を誰かに…いえ、こういった悲しみを増やさない為に世間の皆様を知って頂きたく打たせて頂いてます。

と、申しますのも実は内部経営が悪化し経営破綻に至る事は、早期から解っていたという事です。社長に関しては、どうかは知りませんが、「予測できなかった」等という事はありません。仮にソレが真実なら最初から経営者としては、壇上にも立てない無能という事を自ら述べるようなものであります。あじさい社長との設立時からの繋がりや、ドライバーをはじめとした経営経験豊富な者達から、散々意見されていたにも関わらず、ソレを考慮ないし判断材料の一端として取り入れようとしなかった、という点だけでもそれを物語っています。また現場利用者からの職場改善要求（仕事の効率化の為に道具の仕入れや提案、衛生環境の改善等の提案など）を上司を通して意見具申しても聞き入れて頂けなかった点等存在します。我々利用者の中には、一般社会に居た者や、多くの経歴と様々な事情が重なり、ここに入社をした人物も少なくありません。辞めていった人の中には逆に障害者を雇っている方も存在しています。中には社長に直接意見を申された方もおられます。そういった人の声に耳を傾けず、素人が経営した所で失敗するとしか思えない、事業への多大な投資と損失をしている点や甘い見通し…「幸せの庭」についても、設立前から内部の利用者や従業員も疑問視していた程です。にも関わらず、相次ぐ経営破綻や事業所の閉鎖を繰り返し、先だつては「総社」をはじめ3事業所の閉鎖の際には、残りの事業所のメンバーに直々に書面と破産1ヶ月前にはお知らせするとおっしゃったにも関わらず、それをせずこういった稚拙な結果…夢想した子供の絵空事に終わらせてしまいました。先述した環境改善についても、再三言っているにも関わらず、手入れや碌な修理もせず、現場の利用者が見るに見かねて補修したり整備したりしていた点もごぞいます。事業の中には、食品に関するものもあり、お客様の健康の安全と信頼第一を旨として、改善を提言したりなるべくそういった事にならないようにと、未然に防ぐ様努力し続けていましたが、結局の所、利用者と直接の現場指導員とで相談し、出来る範囲での応急処置や簡易修理をする形で騙し騙しなんとか仕事に支障が出ないように努力する形で精一杯でした。お客様が食事を摂るスペースについても、碌なお金の使い方をせず、杜撰な仕事をする業者に依頼し、完成当初から粗が目立ち、いずれ怪我人がでるのではと危惧する様な出来栄えでした。こういった点から利用者ならび

に従業員やドライバーが意見や努力を行っているにも関わらず、見通しの甘い事業経営や先行きを予測できない思慮の甘さや人の使い方の下手さも重なり、なるべくしてなった…容易に予測できた結果と相成った経緯が存在します。

また利用されていた事業所の利用者によっては、2/28の閉鎖にともない移動を命じられ、家庭環境や事情ありきで、その都合がつかない利用者に対して「移動ができないなら、自主退職をしてくれ」と、そこの管理者から毎日毎日延々と言われ続け、泣く泣く辞めたくて辞めた訳ではない利用者が存在します。これは明らかなパワーハラスメントであり、利用者に対する強い精神的圧力であると推測できます。本来であれば、コレは会社側の落ち度であり、これに対する細やかなケアとアフターフォローが必要であると思われます。しかし、それどころか「自主退職」に追い込み、あまつさえそういったフォローもせず内部従業員から意見されても…といった有様です。解雇された人間の中には理解力に乏しい方もおり、今回のこういった事もあり辞めさせられた利用者の中には「人間不信」に陥ったと、今回の説明会の際に保護者の方からも声が挙がっています。

他にも自身が把握してない話等もありますが、どれもロクな話がありません。こういった杜撰で先見の明もない経営者が甘い宣伝文句を謳い、それを希望の灯りとして夢見た方々も大勢いらっしゃいます。能力がありながらも住んでいる場所・両親の高齢化・移動手段の問題などそういった点で思う様に動けず、藁にも縋る思いでこの会社に入社した方もおられます…破産の際には「いますぐ轢き殺してくれえ！」と錯乱する方もおられたようです。思いや愛着があり「帰りたくないなあ…」と寂しげにつぶやく方いました。解る人間からすれば容易に予測できた事です、しかし中には会社を信用し、コレを希望として、作業をされて生活していた方もおられます。そういった方々からした時、突然の破産と解雇宣告は、どれほどの衝撃と絶望感だった事でしょうか？

今回、長々と文面を打たせて頂いたのには先述しましたが、この悲しい事実をこれ以上増やさない為にもコレを誰かに知って頂き、これを抑制する意見の一つとして真摯に受け止めて頂きたい事を旨とするものです。私のこの意見も、様々な方からすれば甘いと思われるかもしれませんが、大河の中に投じる一石の様なものかもしれません…しかし、起こった事実に対し、それを抑止する為の投げかけとして誰かの胸に残ればと、切なる思いもあり文面を打たせて頂きました。長々と読んで頂き有難うございます。

最期にはありますが、先日閉鎖の記事に対する A 型事業所全国協議会の理事

の下記のコメントを読んですごく共感したので、今回こうして内部事情をしる人間から見た側面として、知っていただきたくメールさせて頂きました。

久保寺一男・NPO法人「就労継続支援A型事業所全国協議会」理事長の話
フィルは事業内容に比べて利用者数があまりにも多すぎる。A型事業所の認可や監査の基準はあるようでないのが実態で、事業所の厳正な判断を監督責任のある自治体だけに任せていることがそもそも問題ではないか。事業所をチェックするためのしっかりとした基準を国レベルで策定すべきだ。場当たりの対応では再発を防げない。

まさしく、であります。こういった悲しみと猜疑心や不安を煽る様な事を繰り返さない為にも、どうか、どうか尽力をお願い申し上げます。